

『エンダーズゲーム』

| 『エンダーズゲーム』 | 【話の種 Topics】 // // //
⇒ | 仮想とフェイクとの境 | 【リアルとバーチャル】 // //

「Ender's Game」

(114分) 2013年アメリカ合衆国SF映画

DVD「エンダーのゲーム」(C) Ender's Game Holdings LLC

太陽系に侵攻する異星人と戦うため、宇宙圏にある「バトル スクール」に『優秀な』少年たちをメンバーとして 集め、訓練するのですが、その内容に、興味を引く2つのエピソードがあります。(チャプタ02終り)

視点の違い

チャプタ 02- 00:13

バトルスクールに向う宇宙船の中で、少年エンダー・ウィッギンは、教官(大佐)の姿勢を見て、ふと笑う。



教官： 何だ、ウィッギン

What are you doin', Wiggin?

ウィッギン： 別に

Nothing, sir.



教官： なぜ笑った？ 質問に答えろ

Something funny?

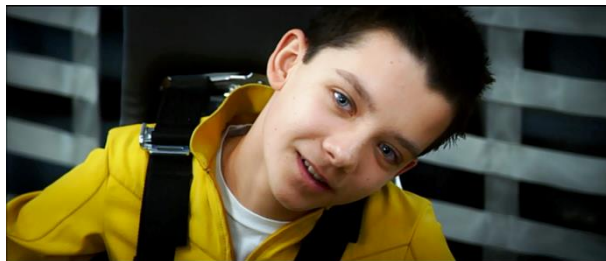
I asked you a question, Launchie!

ウィッギン： 浮いているので

水平に それがおかしくて

Sir, the way you're floating.

Horizontal. I thought that was funny.



教官： どうしてだ

Really? Why?

ウィッギン： 無重量では上も下もなく一逆に僕らが水平かも

Because in zero gravity, there is no right side up.

You may think you're vertical and may be horizontal.

教官：（他のメンバーに対して） おかしいか？

Is that funny?

他のメンバー全員： いいえ 大佐

-Sir, no, sir! -Sir, no, sir!

教官： おかしいさ アーライ、話が分かるか？

Yes, it is. Alai, do you know what he's talkin' about?

アーライ： はい…

-Yes, sir.

教官： いや、分かってない

頭がいいのは今のところ 1 名だけ

だな …

エンダー・ウィッギンだけだ

-No, you don't.

There's only one kid on this launch. with any brains at all so far.

And that's Ender Wiggin.



バトルスクールで少年たちが受ける訓練の一つに、バーチャルだとして正にゲーム感覚で相手を攻撃するものがあります。教官たちは、「今の子達は、こういうのは日常のことで、造作ないんだ」と、直ぐに巧みに使いこなす子たちを『優秀な』子たちだと評価します。

『優秀な』少年たちは、バーチャルだと思っているから、何の躊躇も無く得意気に相手に攻撃を加え、ゲーム感覚で『相手を殺す』。それができるのが『優秀な』少年たちの基準になります。結末は、chapter 14- 01:34頃から。

(2014年6月4日 記事)

※ 無重力において水平は？ 上はどっち？

Facebookのカバー写真はこれをテーマにしています。

※ ドローンなどを使ったりリモート殺戮兵器は既に実用化しています。

※ このエピソードから次の示唆を受けます。

- 仮想と現実を識別する精神バランスを如何に保つか。
- 真実と虚偽、真偽は何を基準に判断するか。
- 正偽は何を基準に判断するか。判断できない。